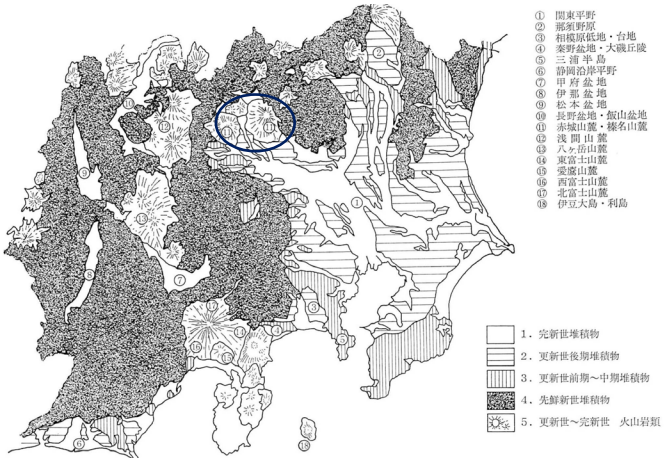
11.赤城山麓・榛名山麓



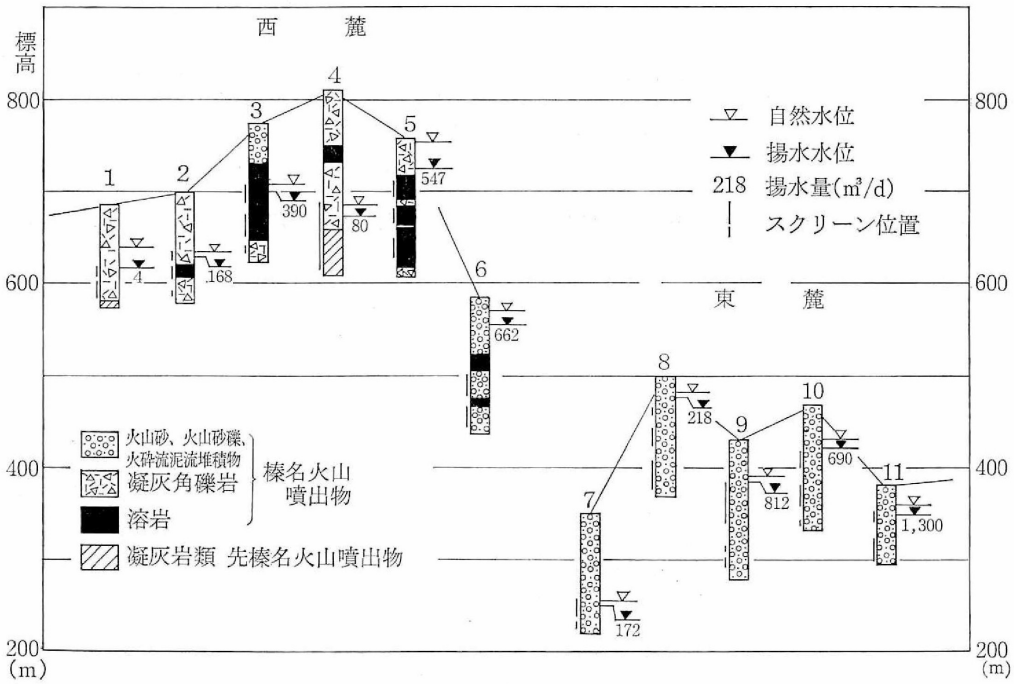
地形・地質

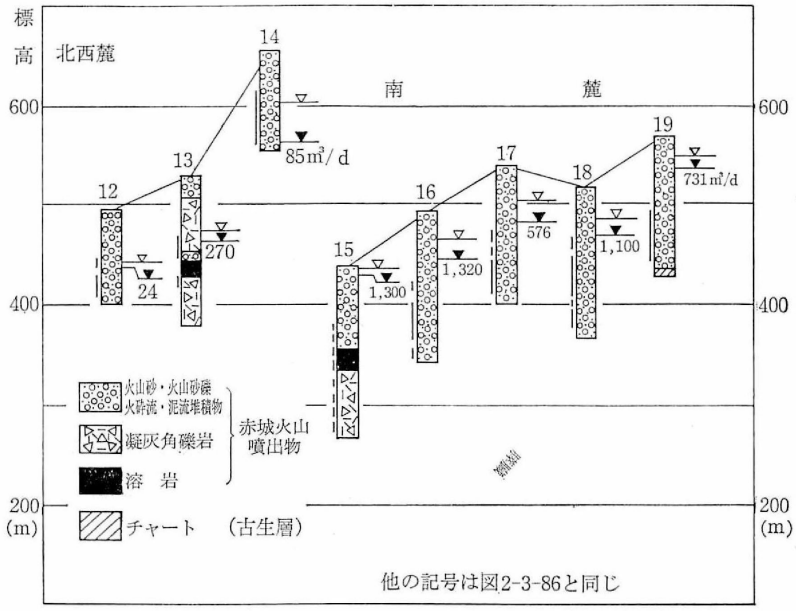
赤城・榛名の両火山は，群馬県の中央部にそびえるほぼ同規模の複式成層火山で，ともにカルデラを伴う安山岩質の火山です。火山体の地質は，外輪山噴出物が大部分を占め，カルデラに近い部分で溶岩，山麓部で火砕岩（凝灰角礫岩・火山砂礫・泥流堆積物・火砕流堆積物など）が卓越する互層となっています。

赤城・榛名火山の水文地質図

地下水

両火山ともに外輪山噴出物中の火山砂礫や泥流堆積物に帯水層があり，量的にかなり幅がありますが，深層の地下水開発に成功した事例は多いです。





水文地質断面図（上図：榛名火山，下図：赤城火山）

出典　日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/（日本地下水学会）